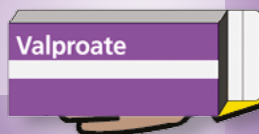
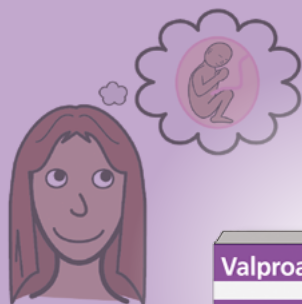


女性およびバルプロ酸を服用している方への医薬品レビューに関する情報リーフレット



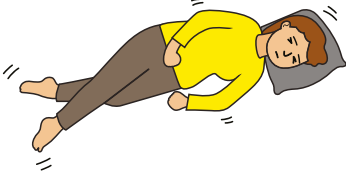
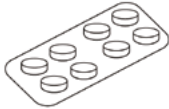
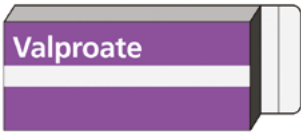
このリーフレットは何について のものですか？

このリーフレットは、55歳未満の人がバルプロ酸を服用することの利点とリスクについて書かれたものです。バルプロ酸の服用開始または服用について、専門医と話し合う際の参考となるよう作成されています。バルプロ酸は、エピリムまたはデパコートと呼ばれることもあります。バルプロエートは、バルプロ酸と言います。

バルプロ酸は、てんかん（発作または引き付け）や双極性障害、その他の健康問題の治療に非常に効果的です。全身性の引き付けや発作を抑えるのに最も適した薬です。

担当の専門医が、あなたが健康で安全に過ごすために最適な薬について説明します。時には、発作や引き付けで重篤な状態になる人もいれば、突然死する人もいます（SUDEP、てんかんにおける予期せぬ突然死として知られています）。

担当の専門医が、バルプロ酸の投薬による利点とリスクについて、あなたと介護者、家族、または擁護者と話し合います。担当の専門医は、SUDEPやその他の健康リスクについて説明します。

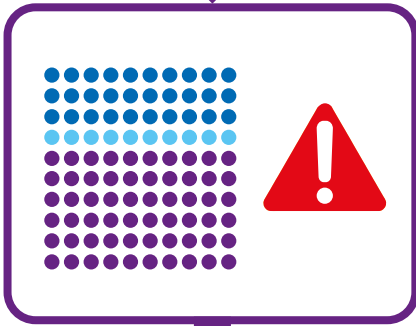


妊娠中にバルプロ酸を服用すると、赤ちゃんに健康障害を引き起こす可能性があります。



バルプロ酸は、赤ちゃんの身体と脳の成長に影響を与える可能性があります。赤ちゃんの脳の発達に問題が生じる可能性は30~40%あります。

これは、学習障害や自閉症、あるいは注意が散漫であったりじっと座ってられない(ADHD)状態を意味している可能性があります。

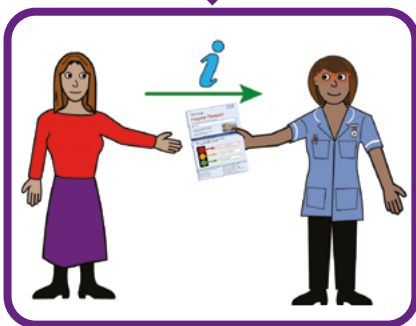


なぜバルプロ酸の投薬の見直しが必要なのですか？

バルプロ酸を服用している場合、赤ちゃんに健康上の問題を引き起こす可能性があります。55歳未満の方は、毎年専門医の面談を受ける必要があります。これは、薬剤レビューと呼ばれています。



ヘルスケアパスポートをお持ちの方は、担当の専門医に提示してください。専門医が患者をサポートするのに役立ちます。





薬剤に関する決定には、患者自身が関与する必要があります。専門医との面談には、あなたの家族、介護者、友人、擁護者、またはあなたの意見を伝えることができる人などを同席させることができます。



あなたの意見が最も重要であることを忘れないでください。分からないことがあれば、いつでも尋ねてください。あなたの体や生活に関する決定にあなたが参加していないと感じたら、その旨を伝えてください。



担当の専門医は、あなたが妊娠を計画しているかどうか、あるいは妊娠の予定はないと考えているかどうかを尋ねます。バルプロ酸があなたにとって最善の薬であるかどうかを確認します。担当の専門医とともに、年次リスク承認フォーム (ARAF) に記入するよう求められます。あなたにはARAFのコピーが渡されます。



妊娠する予定はありません

あなたと専門医が、あなたが妊娠するとは思わない場合、専門医はその理由をARAFに記入します。

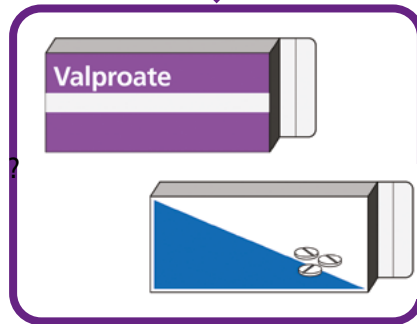
妊娠する可能性があります

あなたと専門医が、あなたが妊娠する可能性があると考える場合、専門医は毎年あなたと面談します。てんかんや双極性障害について話し合い、バルプロ酸があなたにとって最善の薬であることを確認します。あなたがバルプロ酸を服用することに同意しているのかも確認します。

55歳未満で妊娠する可能性がある場合、2人の専門医が、バルプロ酸があなたにとって最善の薬であると同意すれば、バルプロ酸を使用することができます。避妊リングや避妊インプラントなどの避妊を考慮する必要があります。選択肢についてカウンセリングを受けることができます。

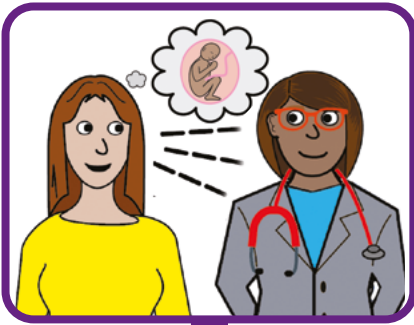
妊娠する可能性がある場合、バルプロ酸と同等の効果を持つ別の薬があるかどうかについて、担当の専門医と話し合います。

バルプロ酸から、効果が同程度ではない可能性のある薬に変更したり、急に変更したりすると、発作や健康問題が悪化する可能性があります。一部の人には入院が必要となり、一部の人には死亡する可能性があります。

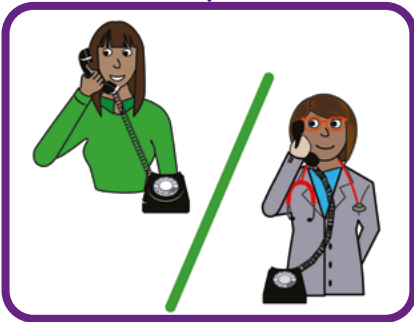


妊娠を計画しようかと考えています

妊娠を計画している場合は、担当医とよく話し合うことが非常に重要です。妊娠する前に、あなたや赤ちゃんへのリスクを軽減するためにできる限りのことを行うお手伝いをします。



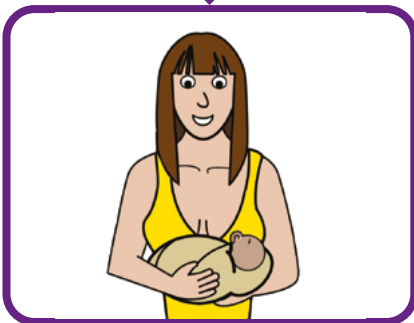
妊娠したら、すぐに担当医に知らせる必要があります。バルプロ酸の服用を専門家の助言なしに中断することは危険ですので、避けることが重要です。



妊娠して発作や引き付けを起こした場合、それらをできるだけ止めることが重要です。発作が多すぎると、赤ちゃんの体や脳の成長に影響を与える可能性があります。発作やSUDEP(てんかんにおける予期せぬ突然死)により、女性や胎児が死亡することもあります。



てんかんを患う女性の多くは、妊娠生活を順調に過ごしますが、危険な時期である可能性もあります。養子縁組など、妊娠することなく母親になる女性もいます。



さらに詳しい情報

このリーフレットのPDFをダウンロードし、さらに詳しい情報を以下で入手してください:

[southeastclinicalnetworks.nhs.uk/
valproate](https://southeastclinicalnetworks.nhs.uk/valproate)



また、携帯電話のカメラをQRコードに合わせ、このQRコードを読み取ることもできます。

本リーフレットは、ダウンロードして、さまざまな言語でもご利用いただけます。

謝辞

本リーフレットに貢献してくださった、南東部およびその他の地域の臨床医の皆様、てんかんおよび精神疾患の経験を持つ専門家の方々に感謝いたします。

特に、Active Prospects、ProActive Communityのメンバー、SUDEP Action、My Life My Choiceの皆様には、このリーフレットの作成にご協力いただき、心より感謝申し上げます。

